

季節のうつろいをまとい
霧ふかい山の茶は
やさしくじんわりつつみこむ
ゆるやかに空にまじわる稜線は
山の端にもひめの横顔にも見えるような
あなたとあなたの大切なひとのそばに
こころをむすぶ 結いのお茶



結い霧ひめ
yui no KiriHime



(パッケージ) リーフ用 巻紙



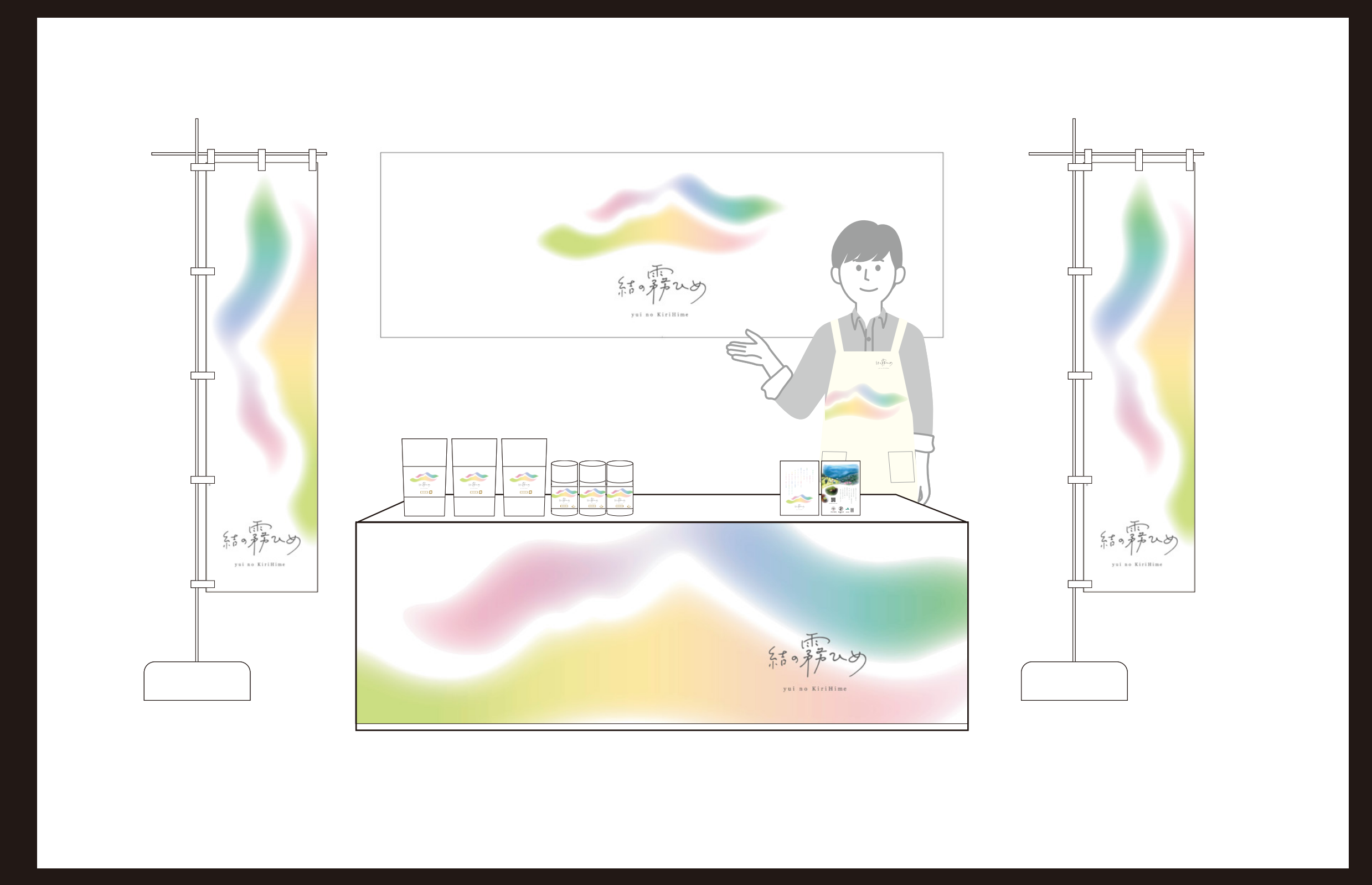
(パッケージ) ティーバッグ用 巻紙



イメージカード



ティーバッグ用 封入リーフレット



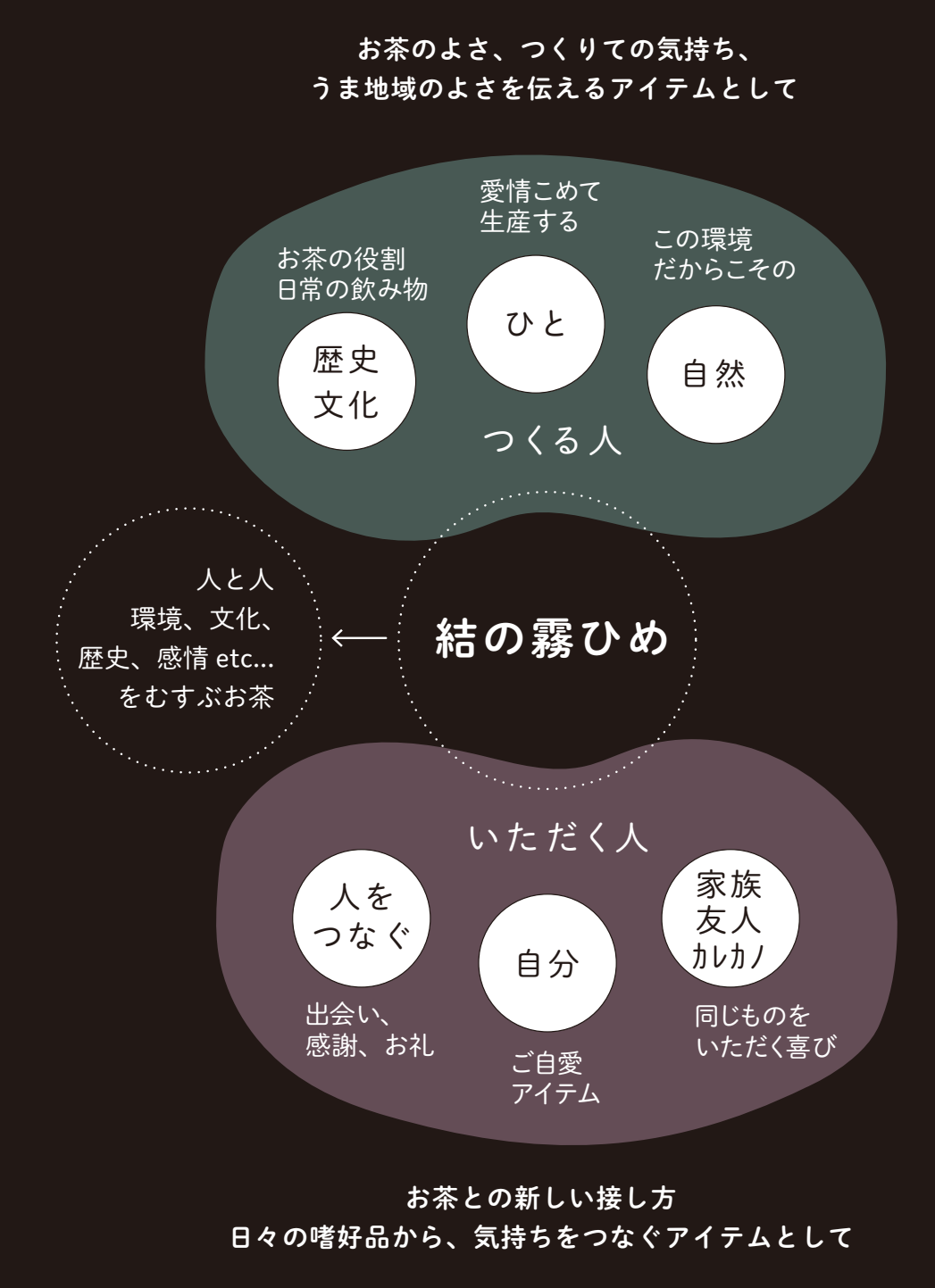
出展用ツール

結いのお茶

こころをむすぶ、

自然と結ばれ
地域と手を取りあい
手間をかけて丁寧に作られたお茶は
人と人をつなぎ、気持ちを結ぶ

言葉にならないけれど確かにある“気持ち”
結い霧ひめは、ただう霧のように、
そっとよそい、ふわりと
みんなをつないでいく、あたたかくて、
やさしくて、じんわりまじわり、
仲間になっていくようなお茶。



(ロゴマークについて)
ひめの霧衣。羽衣をまとうように、お茶の香りをまとってやって来る。
ひとくち飲んだときの繊細な香りとかろやかな味は、
じんわりなじんでいくグラデーションのよう。
霧につつまれる地域だからこそ、
あえて霧を感じる色のまざりあい表現しています。
山の端は、ひめの横顔にも、山の稜線にも見える、
新宮・富郷の色をまとった霧の景色。
やわらかな筆の運びは、ひめがふわりと舞い降りたイメージ。